

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文脈	症例	適正 使用 倍量	感染症(PT)	出典	概要
												ウイルス感染	Herald Sun online 2007年4月22日	70547に同じ
												細菌感染	第81回 日本感染症 学会総会・学術 講演会(2007年4月 10-11日) W17-2	70547に同じ
												ウイルス感染	PLoS Pathogens 2007: 3: e64	70547に同じ
												ウイルス感染	Proc Natl Acad Sci 2007: 104: 11424- 11429	70547に同じ
549	2007/09/27	70549	持田製薬	日本薬局方 ヘパリンナトリウム注射液	日局 ヘパリン ナトリウム	ブタ腸粘膜	フランス	有効成分	有	無	無	クロイツフェルト トヤコブ病	J Neurol Neurosurg Psychiatry 2006; 77: 880-882	CJDサーベイランスの結果、1970年～2003年にヒト硬膜 に関連したCJD7例が英国で確認された。手術後発病ま での期間は平均93ヶ月(45～177ヶ月)であった。さらに、 世界で初めて、ブタ硬膜片レシードピエントでCJD1例を確 認した。これらの症例の臨床的、病理学的特徴について 述べている。ブタ硬膜片レシードピエントは1型PrPresの広 汎な蓄積を示し、発症年齢、疾病期間、臨床症状、脳波 などから孤発性CJDと考えられた。
550	2007/09/27	70550	CSLベーリ ング	①～③人血清アルブミン ④人血液凝固第XIII因子 ⑤⑥フィブリノゲン加第XIII因子	人血清アル ブミン	ヒト血液	①④⑤⑥米 国、ドイツ、 オーストリア ②③米国	①～③有 効成分 ④～⑥添 加物	有	有	有	ウイルス感染	Transfusion 2007; 47: 162-170	輸血により、サルフォamyウイルス(SFV)感染が起こるかを アカゲザルを用いて調べた。感染ザルの血液を非感染ザ ルに輸血したところ、輸血されたザルの血液から8週後に プロウイルスDNAが検出され、その1週間後にゼロコン バージョンが起こった。血しように中に検出限界下限のSFV が検出された。また感染29週目に唾液中にSFVが検出さ れた。輸血によりSFVが感染することが初めて示された。
551	2007/09/27	70551	CSLベーリ ング	フィブリノゲン加第XIII因子	アプロチニン 液	ウシ肺	ウルグア イ、ニュ ージーラ ンド	有効成分	無	無	無			
552	2007/09/27	70552	小林化工	コンドロイチン硫酸ナトリウム・サリチル 酸ナトリウム	コンドロイチ ン硫酸ナトリ ウム	サメの軟骨	注)「海洋生 物由来の原 材料」	有効成分	無	無	無			